

下水道課 予算書P280	金額	74,480千円
P295	金額	31,610千円

## 目的

下水道事業は戦略的な観点からマネジメントをする必要があり、下水道施設全体を一体的に捉えた計画を策定し、持続的な機能の確保及びライフサイクルコストの低減を図らなければならない。

現在老朽化した水海道浄化センター及び内守谷浄化センター、大生郷終末処理場の機械・電気設備等の更新時期を向かえており、安定的な市民サービスの提供を持続させるにはストックマネジメントの計画策定が必須である。

## 内容

- ・施設の情報収集・整理及び電子データ化
- ・リスクの評価(リスクの特定, 被害規模の検討, 発生確率の検討)
- ・施設管理の目標設定
- ・長期的な改築事業のシナリオ設定(管理方法の選定, 改築条件の設定、最適な改築の設定)
- ・点検・調査計画の策定(環境区分の設定, 点検・調査頻度の検討, 対象施設の検討, 実施時期の設定, 点検・調査方法の検討, 概算費用の算定, 点検・調査計画のまとめ)